



大阪商業大学
Osaka University of Commerce

会員と母校を結ぶ

校友会 会報誌

2021 No.22

校友



大阪商業大学 校友会本部

校友会館:2021年7月撮影

ご挨拶

校友会会長 高岸 瞳治



新型コロナウイルス禍の中、ご家族と自己の健康にご留意下さい。

大阪商業大学の女子学生が791名になりました。

全国的に企業、大学のコロナウイルスワクチンの接種もスタートしました。人々へのワクチンが広がり安心の日が来るこことを願っています。

世の中では、子育て、教育の分野、デジタルによる技術革新、通信、「AI」、情報コントロール企業の巨大化などのひとつの変革が起こっております。生産、販売、運輸、健康分野など注意して状況把握をしていかねばなりません。

地球温暖化で脱炭素を求め、エネルギーのCO₂のゼロ化で今後人工的な力と自然を使い、原子力、地熱、水力、風力、太陽光、バイオ、天然ガス、石炭、石油を転換や加工でどう変えるのか、エネルギーがガソリン、電気、水素、アンモニアと変化していくのかという興味があります。

前の校友ナンバー21WEB版の挨拶で、2人の人物から学ぶものをもらつたことを書きました。水泳の池江璃花子さん、大相撲の大関・照ノ富士関です。2人の「人間力」は素晴らしいものです。世の中での改革は、総ては人間が動かす、そのチャンスを生かす。今こそ、冷静に目標を三つ持つこと。(1)単年度、(2)中期の3年から5年、(3)長期の10年以上の目標を同時に持つと、時間的に考えが見えてきます。目標は一度決めたら変更しないのではなくて、新しい変化があれば、進行途中でも変更はあって良いと思います。

教育は、「IQ力」という認知能力、プラス「EQ力(Emotional Intelligence Quotient)」という非認知能力を含めて、「人間力」を高めることが重要です。また、「デジタル指導力のある教員の質の向上」など、キャリア教育は専門性の高い人を加えていく方向になるでしょう。

課外活動では教員以外の地域の方々や先輩、後輩の力も求められます。教える側は単なる経験や古い方法でなく、「教え、育む、社会から学ぶ」という人間力が当然要求されるでしょう。大阪商業大学は建学理念である「世に役立つ人物の養成」が71年間続いており、谷岡学園にある一つの幼稚園、3つの高等学校、2つの大学がこの理念を大切にしています。

大阪商業大学の大学・大学院で学び卒業して世に出てくると、大阪商業大学校友会の会員になります。私は、3歳、4歳の子どもと中学2年生の生徒さんの詩から学ぶべきことをもらいました。新聞(読売)に発表された内容で、

3歳の詩

「あっ！」アリさんがお母さんの靴を踏んだ！

4歳の詩

男の子が車道にいたアリを見て、手のひらにアリをのせて歩道に運んだ。「ここは車が通るから危ないよ！」

「お父さん、何かつかれた」「お父さんすこしだまってもらっていい！」お父さんが朝出て行くとき「又きてね～」

泣き声について「ワンワン鳴くのはイヌ、ニヤ～ニヤ～はネコ、モーモーはママ」

中学2年生の女子生徒の詩 「人から人に」

「自分で決めて」親はこう言う。「人に頼るな」親はこう言う。人は人にしか頼ることができない。だから人に相談する。

信頼できる人を作るのである。この子供たちが十数年で大学生となり卒業して校友会員になる。私はこの子達の一人一人の教育に社会人として責任と義務があることを深く感じます。

ご挨拶

大阪商業大学 理事長・学長 谷岡 一郎



コロナが永く続き、私はこの2年間ほど海外に行っておりません。そして校友の皆様とも長い間face-to-faceでお会いできておりません。お元気でお過ごしのことと願っておりますし、たぶんその通りだと思います。なにせ皆さんは大商大を卒業したのですから。

最近は、海外で活躍する若者が増えてきました。特にスポーツの分野では、メジャーリーグ・ベースボール、サッカー、バスケットボール、テニス、ゴルフなどなど、日本人プレイヤーの名前をよく聞くようになりました。「ダメでもいいから、チャレンジしたいんだ」という気持ちが嬉しいです。そうしたチャレンジャーの元祖のひとりはタイガースの新庄選手だったと記憶していますが、周囲の危惧(日本でも2割5分も行かないのに…)をはねのける活躍をしてくれました。給料がヒトケタ下がるのは承知で、メジャーへのチャレンジをやってくれた新庄選手の心意気を知った時、たとえ失敗して帰ってきてファンでいると思ったのを想い出しました。もともと道を切り開いた野茂英雄選手もエライ！

今の学生を見ていますと、今までになかった新たな「何かやってやろう」という気持ちを感じるようになりました。今はまだ少数ですが、そのうち実業界においても新たなメジャーリーガーが、何人も登場することでしょう。校友の皆さん、どうか次の10年、20年に期待し、見守っていて下さい。それまで健康に留意し、バリバリの現役でいて下さい。

校友トピックス

校友会館 外壁タイル改修工事完了

校友会館は昭和53年に竣工、昭和58年に増築しました。しかし、現在、建物経年劣化や台風・地震等の自然災害により外壁タイルの破損、ひび割れも多数あり雨漏りも発生していました。令和2年度に校友会館外壁タイルの劣化状況の調査を株式会社ジャストに依頼し、令和2年8月17日から20日の日程で目視・触診検査を行いました。調査範囲においてタイルの浮き、ひび割れ、エフロレッセンス(白華)及びシール材の表面劣化がみられました。

現状のまま放置すると外壁タイル剥落等で校友会館利用者への事故の危険性があるため、早急な対応として校友会館外壁タイルの改修工事を日本カルミック株式会社に依頼し、令和3年1月13日から3月12日の日程で、タイル注入工事ビスクランプ工法(剥落防止10年保証)で工事(下写真)を行い3月12日無事完了いたしました。

工事期間中利用者の皆様にはご迷惑をお掛けしました。今後ともよろしくお願い申し上げます。



校友会館正面



校友会館裏



*タイル注入工事ビスクランプ工法とは
外壁仕上げモルタルやタイルの浮き部分を特殊なステンレス製タッピングピン「BBクランプピン」の優れた保持力とエポキシ樹脂の接着力で強力固定させ、仕上げモルタルや外壁タイルの落下を防止します。(外壁剥落防止協会パンフレットより)

校友会から母校へコロナ禍 学生支援基金を贈呈

校友会では、新型コロナウイルス感染禍の影響を受けた学生支援のため、令和2年10月、200万円を母校・大阪商業大学へ贈呈しました。

これは、コロナ禍において経済面で生じている在学生の負担を軽減させたいとの母校よりの要請に応えたもので、学生食堂での食事代支援を行いました。

また令和3年も同様に、長引くコロナ禍における支援として100万円をこのほど母校へ贈呈致します。

今後も校友会では、在学生のために可能な限りの多くの支援を提供してまいります。

特に食費を削るなど、経済的に苦しい在学生に対しての食糧支援を行いたく、校友の皆様で安価で食料品「常温で3か月以上保存のできるもの」のご提供を頂ける場合は校友会まで情報をご連絡ください。



谷岡一郎学長(左)へ目録を贈呈する高岸会長

三重県支部

コロナ禍にて

三重県支部 理事 西岡 幸彦(昭和49年卒)

皆様方、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの発生が認められてから早や一年半が過ぎました。終息の気配はなく感染拡大と減少を繰り返しています。ようやく5月後半から高齢者を対象に全国でワクチン接種が始まりましたが、国民全員が終了するのはかなり先になるようです。

大阪では「緊急事態宣言」から「まん延防止等重点措置」に移行し、学校の一日も早い平常を願うところです。当県に発令されていた「まん延防止等重点措置」

も6月20日終了しましたが、東京オリンピック、パラリンピックも控えており、9月及び10月には当県において国民体育祭(とこわか国体)が予定されています。どの様な形で各大会が開催されるかわかりませんが感染拡大に繋がらなければと危惧しています。

当支部では、主に活動している会員は高齢者が大多数を占めているため、一定の活動自粛を行い、集まっての会議等は開催せず電話、郵便等で連絡を取っています。

【支部連絡先】

〒518-0823 三重県伊賀市四十九町1704 西岡幸彦様方 TEL.0595-21-3556

北摂支部

この一年に想うこと

北摂支部 支部長 谷林 喜久治(昭和40年卒)

北摂地方は今、田植えの時期で兼業農家が多く5月中はどの農家も忙しく仕事に精を出しておられます。とは言え昔は家族総出で田植えをしたものですが、最近は男子一人で機械操作をし、見る見る間に早苗が植わっていきます。私宅も多少ですが植え付けが終わりました。

ところで、一昨年秋より発生した今や全世界に蔓延している「コロナ感染」。あらゆる報道も一日中のニュースで明け暮れています。何時終息するか全く見通しがつかない現状において、人々の行動も制限され、経済も停滞、何よりも人の命を奪うと言ふ恐ろしいウイルスです。今やワクチンを一刻も早く投与できるよう願っております。

【支部連絡先】

〒666-8501 川西市役所議会事務局内 久保義孝様方 TEL.072-740-1111 FAX.072-740-1318

ん。会員の皆さまには高齢の方も多く、日常生活において、自分自身でウイルス感染に注意していただき、次回支部活動が安心して実施できる日を楽しみに待っていました。就任直後の平成30年に開催されました「開学70周年記念ホームカミングデイ」に会員参加を企画し、卒業以来久しぶりの本学を見学、併せて第17期卒業の大塩先生の校友顕彰式典にも参加、一日を有意義に過ごすことが出来ました。この企画を皮切りに支部としての活動を進めるべく計画をしていましたが、新型コロナウイルス感染拡大が予想され、緊急事態宣言も発令される事態となりました。大変残念なことですが、支部活動も実施することが出来ませ



石川県支部

コロナ禍での校友会活動

石川県支部 支部長 池田 典明(昭和48年卒)

昨年1月新型コロナウイルス感染症が全世界に拡がり日本中にも広がりその影響は石川県にも拡大しました。

校友会支部の事業が全く開催することが出来ませんでした。昨年11月にようやく下火になり役員会を開催して来年度の事業計画を立てました。ところが令和3年当初より変異株感染が拡大し加賀市で開催予定の事業も中止となりました。

嬉しいことに久保副会長の奥様が令和3年度金沢市議會議長に就任いたしました。又本年4月18日に当校友会副支部長の杉本正一君がかほく市議會議員選挙にて7期目の当選することが出来ました。

北陸新幹線が金沢から大阪までの延伸となり今急ピッチ工事が進んでいます。開通すると大阪まで30分短縮して2時間で行くことが出来ることになります。コロナ感染で大きく工事が

遅れることが見込まれますが北陸・関西と相互に大きな経済効果が見込まれます。ところがここにきて二府二県が緊急事態宣言発出され追うように1都3県も後追いする形で発出されました石川県も4月28日蔓延防止重点措置法が適用となり経済活動や人流が制限される事態となりました。1日も早い収束を願うばかりです。

最後になりますが校友会の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

【支部連絡先】

〒920-1165 金沢市若松町ツ116 中村直彦様方 TEL.076-264-8903 携帯.090-6818-7220

関東支部

アフターコロナにおける支部活動の展望

関東支部 支部長 春田 丈夫(平成9年卒)

アフターコロナにおいて、校友会支部活動の目的と運営をあらためて定義しなおす必要があると感じております。

当校友会支部活動のみならず、他の交流団体においても同じような話を聞きますが、主な理由として以下3点がございます。

①支部会員のご高齢化(年々ご出席いただける方が減少傾向にあります。また、残念ながら計報のご案内が年々増加傾向にあります)

②コロナ禍でさらに支部会員同士の交流ができずで歯がゆい思いをしております。

③支部会報誌発行についての見直し…コロナ禍での交流活動ができるない為、活動報告ができず、会報誌発行費用についても、多くは支部会員の方々のご協賛によって賄わせておりますが、コロナ禍で経済の冷え込

み等で以前ほどのご協賛が得にくい状況となっております。しかしながら、支部の持ち出しも厳しい状況です。大きく社会環境が変わる中で関東支部のみならず、他の支部でも同様の課題をお持ちではないかと思われます。

アフターコロナにおいて、そのあたりの事を本部と支部が共有してこれから校友会を見据えて進めていく必要があります。まずは手始めに、定期的な支部同士の連絡会等を定期的に本部主導で実施のような活動をする中で、新たな方向がみえてくるかもしれません。

そのような中でも一番危惧して感じているのは、関東支部においては、若い方の会員が年々減少傾向にあり(関西に帰られた等)、極端な逆三角形の年齢分布となっております。

春田自身、昨年ご縁ありベンチャ

ー企業に管理職として移り、他のスタートアップ企業の若い経営者の方々との交流が多い中で、情報の取り方、人との繋がりの作り方、物事の進め方・スピードが、我々昭和・平成世代とも違うことに大いに驚かされております。

そのような若い方々でも、最終的に大事にされているのは「実際に会う事」。ZOOMやチャットでリモートで出会っても、実際に会う事はおそらくしないという事は共通していることです。

そんなことから、各支部連携して、テーマを決めてのオンラインでの交流会や講演会の開催ができる、何か拡がっていくのではと感じ、リアルでお会いするまでのきっかけを支部として作っていけばと考えております。皆様、健康にはくれぐれもご自愛下さい。

高知県支部

コロナ禍でも頑張っています

高知県支部 副支部長 松本 純子(昭和50年卒)

社会福祉法人太陽福祉会は、障害福祉サービス事業所を主体として8事業所を運営しています。

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染が日々拡大し、メディアでは感染者数やクラスター発生情報が連日伝えられ、「ソーシャルディスタンス」「PCR検査」「緊急事態宣言」等々のそれまでは聞いたことのなかった言葉を見聞きする中での不安なスタートとなりました。私の事業所においても、感染拡大防止に取り組み、日課の見直し等感染の不安を抱えながら過ごした1年でした。全国の同業種の施設においても、集団感染が発生し医療体制の確認等、困難な状況もありましたが、会員相互の連携を図り情報共有しながら、感染対策をさらに充実させていきました。具体的には、感染予防の基本をしっかりと守ることでしたが、マスク

着用に慣れていない人も多く、時間をかけて少しずつ受け入れてもらったり、送迎車の密を避けるために送迎回数を増やしたり、毎回の送迎後消毒も徹底しました。外出、夏祭り、餅つき等の楽しい行事も中止になりましたが、利用者・保護者を含め関係者の理解とご協力のおかげで、



事業所を閉所することなく、日々の活動を継続しています。

また、支援現場での感染対策も大変でしたが、人材育成のための職員の研修会もとても重要なものです。これまで主流であった集合形式の研修に変わり、リモートやオンラインによる研修方法に変わり、慣れないながらも福祉の世界もコロナ禍

がきっかけで変わり始めています。コロナ禍でこれまでのようにやれないことも増えましたが、新たにやれることも増えたと思えるようになりました。

令和3年度も、感染防止対策の取り組みを継続しながらのスタートではありますが、コロナ終息後の活動を楽しみに日々の活動を頑張っています。

【支部連絡先】

〒783-0091 高知県南国市立田1288-1 岩井貞雄様方 TEL.090-4330-4223

京都府支部

卒業して30年！時代の時に苦楽を楽しんでいます。

京都府支部 坂栄孝(平成8年卒)

1995年卒業 大阪商業大学 第42代目 空手道部副主将 坂栄孝です。

30年前の体育会・武道系・しかも空手道部と言えば、押忍！押忍！の上下関係・礼儀・礼節と厳しい世界で、日々のトレーニング・基本稽古は半端なものではなく、1日を乗り切るのが精一杯で、次の日を迎えると、さらに厳しい稽古の日々が続く。精神的にも肉体的にもぼろぼろになりながらも日本一を目指し、挫折とやる気の繰り返しの4年間・学生生活でした。苦しい、厳しい稽古も人一倍耐え抜きましたが、その分、喜びも人一倍、全日本優勝の際には、優勝カップにビールを入れ回し飲みと日本一の喜びも経験させていただきました。そんな学生生活だつ



たので社会人になっても、学生時代の苦労に比べたらと、怖いものなしで人一倍仕事し、人生を楽しみ充実した日々を過ごしていました。

20年前に家業である精密加工会社に戻ってきました。海外進出にも成功し順調でしたが、10年前のリーマンショックの影響を受け、廃業覚悟で3代目代表者となり、会社再建に取り組みます。下請け事業からの脱却を夢見て、自社製品開発に力を入れ、小型・静音コンプレッサー「mote con(モテ・コン)」の開発に成功しメーカーへの一步を踏み出します。10年でやっと様々な所で認知され活躍の場が出て参ります。

今回はその一例をご紹介させていただきます。懇意の医療機関で“消毒作業が省

力化できるものを作て貰えないか”という一言がありました。予期せぬ災禍で業務量が激増し、多くの職員方が疲弊している。コロナ禍で大変な時代、我々、ものづくりの技術で何か貢献出来ないか…との思いで「モテガンミスティ」の開発・商品化をいたします。

今では医療機関、介護施設、幼稚園、ホテル、飲食店など多岐にわたる場所で多くの方々からモテガムミスティによる作業負担軽減の喜びの声をいただくに至っています。



【支部連絡先】

〒617-0836 長岡京市勝竜寺尻細13-17 藤原泰宏様方 携帯090-3894-5222

愛知支部

活動の振り返りとこれから

愛知支部 事務担当 杜下 憲央(平成2年卒)

私たち愛知支部は、平成19年7月に初代支部長の川村喜久明氏(故人 昭和33年卒)が、愛知県内に在住や勤務する大商大的卒業生たちが世代を超えて交流し、親睦を図る場を設けたいとの思いから、校友会本部に相談したことが当支部発足のルーツです。

当時、川村氏が校友会名簿に登録されていた愛知県内在住の校友約220名に電話で呼びかけ、有志6名による世話人会で支部設立に向けた準備を行いました。その結果、平成20年4月に名古屋市内で開催した設立総会を経て誕生しました。支部名は近隣の岐阜、静岡の両県にも活動の輪を広げられるようにと設立当初から敢えて「県」を外しています。毎年の支部総会・懇親会をはじめ、講演会や役員会の開催、母校行事への参加、他支部との交流などに取り組んできました。

平成25年度に2代目として、石原孝行氏(昭和47年卒)が支部長を引き継ぎ、役員旅行の実施や三重県支部とのゴルフコンペをはじめとした他支部との交流拡大に尽力をいただきました。そして、平成29年度からは現支部長の光田秀信氏(昭和52年卒 バスケットボール部OB)をはじめ、顧問3名、副支部長3名、及び他役員8名が中心となり、支部活動の継続と発展にむけて歩み続けています。

今後とも当支部活動へのご支援、ご協力の程よろしくお願ひいたします。



【支部連絡先】

〒474-8651 愛知県大府市横根町名高山55 至学館大学・同短期大学部 総務課 杜下憲央様 TEL.0562-46-1291 FAX.0562-44-1313

兵庫御厨会

日ノ本学園は頑張っています

日ノ本学園 理事長・高校校長 中川 守(昭和53年卒)

生徒も現在属しています。他の運動部も全国大会を窺うレベルにあり、活気に満ち溢れています。

3年前に不登校生を対象としたコースを立ち上げ、今年度から地域や保護者の要望に応え初めて男子生徒の受入れをはじめました。不登校であった生徒の多くは、行き場を求めて容易に入学できる私立の通信制高校を選んでいます。しかし生徒保護者は新しい制服に身を包み、確かな学力が身に付くことができる事を希望しています。少人数で細やかな指導と2校時からの登校ができる仕組みと単位制の長所も活かして、夢の達成実現と個性の伸長をはかっています。将来、

社会で活躍できる人間を育成したい願いです。今春入学した男子1期生は「こんなに学校が楽しいものとは思わなかった」とにかく毎日が楽しいです。」と、言ってくれました。

ところで、今年は理事長・校長職の傍ら、「兵庫御厨会」の会長を仰せつかりました。微力な故、周りの方々の支えが必要な身ですが、熱意をもってその任に就きたいと思っております。日ノ本学園同様今後とも本会のご支援賜りますようお願い申し上げます。

最後に、コロナに負けることなく、本会会員の皆様の益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。



【支部連絡先】

〒672-8082 兵庫県姫路市飾磨区1-50-4 三木進様方 TEL.079-239-4443

広島県支部

社会人野球チーム「伯和ビクトリーズ」で活躍する校友を訪ねて

広島県支部 支部長 渡辺 高守(昭和49年卒)

コロナ禍の中、母校の硬式野球部が4季連続して関西六大学野球のリーグ優勝という、明るいニュースが届きました。

この度、訪ねた校友は、この硬式野球部OBの池田侑矢(平成28年卒)さんと、土井力丸(令和3年卒)さんです。二人とも、社会人野球チーム「伯和ビクトリーズ」で活躍されています。

「伯和ビクトリーズ」は、広島県内で、アミューズメント事業、飲食事業、ホテル事業等を展開されている「伯和グループ」が母体の企業チームです。平成17年に発足し、当時の監督は大商大野球部OBの東賢孝(平成6年卒)です。すでに退任されていますが、チームを全国大会に導かれ、全国ベスト4の実績のある名将です。その東監督時代に、池田侑矢さんが入部されました。

池田さんは、兵庫県の出身ですが、商大野球部OBの中井哲之(昭和60年卒)監督を慕って、広陵高校へと進まれま

した。高校時代は甲子園出場の夢が叶わず、悔しい思いをしたとのことでした。大商大野球部では、この悔しさをバネに、レギュラーを目指して頑張り、神宮大会に出場されています。野球部での最大の思い出は、富山陽一監督との出会いだと言われていました。1年生から、起用していただき、監督に何とか恩返しがしたいという気持ちで野球に取り組んだと言われていました。

土井力丸さんは、地元広島の出身ですが、香川の尽誠学園に進まれ、高校3年の夏に甲子園に出場されています。



【支部連絡先】

〒739-2101 広島県東広島市高屋町造賀5799-1 渡辺高守様方 TEL.082-436-0295

愛媛県支部

愛媛県で私たちとゴルフをしましょう!!

愛媛県支部 広報部長 吉弘 輝男(昭和55年卒)

校友会愛媛県支部親睦ゴルフ会は今年で第12回となります。会員の皆様のご協力とご支援により支部自慢の継続事業になりました。また県内各大学校友会対抗親善ソフトボール大会や各支部とも快くしていただいた交流会。関西六大学野球、ボクシング大学王座決定戦応援ツアーなど多くの校友会支部事業活動にご参加いただき誠にありがとうございました。

さて、今年は我が愛媛県松山市出身の松山英樹(29歳)が4月11日、米ジョージア州のオーガスタ・ナショナルGCで行われたマスターズ・トーナメントに出場し、挑戦10年目に悲願の初優勝。地元愛媛県は歓喜に沸きました。その快挙によりゴルフ関連業界は新型

コロナウイルス流行による落ち込みから回復し、好調を維持。「3密」を避けられるスポーツと注目される中、人気に拍車が掛かりそうですね。

例年通り愛媛県支部親睦ゴルフ会を開催します。日時は令和3年11月13日午前9時36分にスタートします。場所は新居浜カントリー倶楽部です。毎年ゴルフ場を変えて開催しています。

お問い合わせは下記愛媛県支部事務局までお願いします。全国校友の皆様、全くの初心者でも気軽に参加できます。ゴルフをしてみようかなと思われる方はこの機会にゴルフ場デビューしてみませんか。スイング理論の教祖、ゴルフ史にその名を残す偉大なプレ

イヤーだったベン・ホーガンの名言に「ゴルフに年齢はない。これを行う強い意志さえあれば、何歳からでも上達する」緑の芝生のじゅうたんは気持ちいいですよ。北海道から沖縄県だけでなく広く海外で活躍されている校友の皆様、伊予の国より四国八十八ヶ所を巡礼するお遍路を労う「お接待の精神」をお待ちしております。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

第11回愛媛県支部親睦ゴルフ会
お問い合わせは下記愛媛県支部事務局までお願いします。全国校友の皆様、全くの初心者でも気軽に参加できます。ゴルフをしてみようかなと思われる方はこの機会にゴルフ場デビューしてみませんか。スイング理論の教祖、ゴルフ史にその名を残す偉大なプレ



第11回愛媛県支部親睦ゴルフ会

【支部連絡先】

〒790-0966 愛媛県松山市立花3丁目2-24 (株)なかむら内 中村泰三様方 TEL.089-921-4914

福井県支部

負けないで！

福井県支部 幹事 勝森 英幸(平成3年卒)

平成3年卒 勝森英幸(スバルショップ大野 代表)です。

私の住む大野市は、福井県の東部に位置し、越前大野城が雲海に浮かんだように見える『天空の城』を見ることが出来る人口3万人程度の小さい街です。

自然豊かなこの町でもやはりコロナの恐怖と向き合っています。福井のコロナ感染者1000人のうち大野市30人(5/20現在)という状況です。

自動車販売・整備は、比較的被害が少ないと言われる業種ではございますが、販売という面ではかなり打撃をうけました。なかなかお客様と接することが出来なく難しい時期

もありましたが、社員一同《お客様ファースト》を掲げ少しづつ回復傾向に向かっております。

それでもコロナにかかれば会社がどうなるかという不安とまだまだ戦い続けていかなければならぬでしょう。

この場をお借りして申し分けございませんが、楽しみの少ないこの時代に、コロナが落ち着いたら大学時代サッカーを通して出会った皆様との再会を心待ちしております。

コロナに関わる医療従事者の皆様に感謝し、自分に関わる人達の為にも自肅を心掛け、早期終息を願うばかりです。

各支部の皆様も十分に気を付けていただ

き、コロナ終息を迎えた時には大自然豊かな大野でお待ちしております。



【支部連絡先】

〒918-8002 福井県福井市左内町9-22 清水久通様方 TEL.090-3769-1122

富山県支部

横田富山県支部長が行く！第7弾 今泉木材店編 「木のぬくもりをお届けします！」をモットーに

富山県支部 支部長 横田 安弘(昭和40年卒)

横田安弘支部長(以下横田): こんにちは。今回は、木材卸売業の今泉木材今泉安明社長さんの会社を訪問させていただきました。早速ですが卒業年度と学生時代の思い出などを聞かせてください。

今泉安明会員(以下今泉): こんにちは。私は昭和46年度卒業生です。学生生活は、学生アパートだったので同級生とよく飲みに行ったり、時には喧嘩をしたりと今となっては懐かしい思い出です。今でも応援団で学んだ“押忍”(オス)の精神を守っています。

横田: 今泉さんは富山支部きての論客ですが、コロナ禍でもある今日において、若手支部メンバーや在校生に何かメッセージをいただけますか。

今泉: 平成年代の卒業生や令和時代の現役後輩

諸君は、コロナ禍で今までとは全く違う形の仕事環境や学生生活を余儀なくされていることと思っています。ちまたでは、ネットミーティングやネット飲み会が主流になっているとも聞いています。しかし、こんな時代だからこそ

人と人とのつながりを大切にしてほしいと思います。若い皆さんには興味を持ったことには失敗を恐れずチャレンジしてほしいと思います。そして、何か困ったことがあれば一人で悩みを抱え込まずに校友会の先輩に相談してもらいたいと思います。

横田: 今泉さんは富山支部のご意見番として貴重なお話をさせていただきありがとうございました。今後益々のご健勝、ご活躍を祈念いたします。



工場前にて 今泉社長(左)と 横田支部長

【支部連絡先】

〒939-2649 富山県富山市婦中町余川16 (株)藤井産業内 藤井泰三様方 TEL.076-469-3007 FAX.076-469-3535

令和2年度 学位記授与式

令和2年度の学位記授与式を3月25日(木)に東大阪市文化創造館において、感染拡大防止の観点から学部・学科ごとに午前と午後の2回に分けて挙行いたしました。今年度は学部生799名(経済学科285名、経営学科268名、商学科117名、公共経営学科129名)、大学院生10名の皆さまがご卒業されました。

式典では、谷岡学長から学科・研究科の代表者へ学位記が授与されました。また、卒業される皆さまへ、学長からのメッセージをはじめ、東大阪市長の野田義和様からのビデオメッセージや在学生からの祝辞が贈られました。

また、式典終了後には大学にて、担当教員から卒業生全員に学位記が授与されました。

無事にこの日を迎えることができましたのも、日頃より本学の教育・研究活動にご理解とご協力をいただいております皆さまのおかげです。今後ともご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



令和3年度入学式

4月2日(金)に令和3年度の入学式を東大阪市文化創造館において挙行いたしました。今年度は学部生1,284名(経済学科346名、経営学科465名、商学科187名、公共学科286名)、大学院生8名の新入生がご入学されました。

今年度の入学式は、感染拡大防止の観点から学部ごとに午前と午後の2回に分けて実施しました。会場では、学部ごとに新入生が集まり、谷岡学長からの祝辞や東大阪市長の野田義和様からのビデオメッセージなどが贈られました。

また、式典終了後は大学にてクラス単位で自己紹介プログラムに取り組み、これから的学生生活に向けて友人同士で交流を深めました。

感染症の流行によりこのような状況下ではありますが、新入生の皆さまには建学の理念である「世に役立つ人物の養成」を礎にしながら、それぞれが目標をもって充実した大学生活を送り、社会で大いに活躍する人間に成長してほしいと願っております。



いぶき祭



いぶき祭実行委員会
委員長 奥村理子

まず、令和2年度のいぶき祭は準備の作業はできたものの、緊急事態宣言によりいぶき祭 자체の開催が出来なくなりました。いぶき祭というものを提供する側として経験したことがないまま実行委員長として臨んだ今回の第23回いぶき祭について、例年ならば2か月ほどの準備期間を設けるのですが、緊急事態宣言の延長の影響により開始を遅らせ、一か月程度の準備期間となりました。

作業期間中は作業場所・作業時間を分けること、検温の徹底などできる範囲での感染予防を行いました。新入生のためのいぶき祭ですから、最大限に楽しんでもらうにはどのように三密を避けるのか、感染予防はどうするのかと例年のものに比べ変更点が多くあり、ステージ企画や模擬店での提供に関してはもちろんのこと全体を通して最後まで一番話し合いを重ねました。結果として模擬店では、以前のようにその場で食べることが出来るものではなく既製品を持ち帰っていたらしく形にし、ステージ企画やクラブ紹介ではステージに上がる人数を制限するという形をとりました。また、観客席に張り紙や声掛けをし、一席空けての観覧をしてもらうなどの対策も行いました。

新型コロナウイルスの影響により開催自体が危ぶまれていたり、最終作業や本番の日にちがニュースでは雨予報が出ていたりしましたが当日は天気にも恵まれ、無事に開催することが出来たことをうれしく思います。

新入生にとっても大学の雰囲気を感じることが出来るいい機会になったのではないでしょうか。確認不足や準備不足など至らぬ点が多々ありましたが、先輩方など周りの方々の多大なサポートのおかげで最後までやりきることが出来ました。

今回のいぶき祭を通して貴重な経験をさせていただいたので、この経験をこれから存分に活かしていきたいと思います。また次回のいぶき祭ではコロナ禍以前のように盛大に開催できることを願ってこの文を締めさせていただきます。



令和2年度主なクラブ大会成績

<ウェイトリフティング部>

第59回西日本学生ウェイトリフティング選手権大会

- ・55kg級 優勝 山口 順太
- ・96kg級 準優勝 吉川 敦啓

第19回西日本学生女子ウェイトリフティング選手権大会

- ・81kg級 3位 得平 美琴

<カヌー部>

第56回全日本学生カヌースプリント選手権大会

- ・男子K-1 1000m 準決勝戦8位 木下 駿

<硬式庭球部>

関西学生新進テニストーナメント予選

- ・男子ダブルス 3回戦敗退 河合 一希・坂口 希樹

<硬式野球部>

関西六大学野球秋季リーグ戦

- ・優勝(3季連続20回目(旧リーグを含む))
- ・最優秀選手賞 福元 悠真
- ・最優秀投手賞 伊原 陵人
- ・ベストナイン(外野手) 戸田 航史
- ・担当記者クラブ賞 伊原 陵人
- ・平古場賞(新人賞) 伊原 陵人

関西六大学野球秋季新人戦

- ・優勝
- ・最優秀選手賞 碓井 雅也

第53回日本学生野球協会表彰選手(大学)

- ・関西六大学野球連盟 岡澤 智基

<サッカー部>

第98回関西学生サッカーリーグ

- ・2部Bリーグ 3位
- ・2部Bリーグ優秀選手賞(MF) 上原 真尋
- ・2部Bリーグ優秀選手賞(FW) 橋本 啓吾

<準硬式野球部>

阪神六大学準硬式野球連盟秋季リーグ戦

- ・優勝(2季ぶり67回目)
- ・最優秀選手賞 松山 豪大
- ・新人王 松室 歳唯
- ・ベストナイン(投手) 玉置 翔太
- ・ベストナイン(捕手) 松山 豪大
- ・ベストナイン(遊撃手) 松室 歳唯
- ・ベストナイン(外野手) 藤坂 文也

第72回関西地区大学準硬式野球選手権大会

- ・ベスト4

<卓球部>

関西学生卓球秋季リーグ戦

- ・男子3部 優勝
- ・男子3部 故闘賞 池田 光太郎

<日本拳法部>

第65回全日本学生拳法選手権大会

- ・男子団体 3位
- ・敢闘賞 大西 晴陽

<バスケットボール部>

関西学生バスケットボールリーグ戦

- ・2部 準優勝(1部昇格)
- ・2部敢闘賞 武本 祐 ルイス
- ・2部優秀選手賞 笠井 大空

<バレーボール部>

関西大学バレーボール連盟男子秋季リーグ戦

- ・2部 4位(令和3年度1部所属)
- ・スパイク賞 馬場 真一
- ・ブロック賞 弘中 智也

<ボウリング部>

第59回関西学生ボウリング選手権大会

- ・男女混合2人チーム戦 7位 佐々木 哲平・堂脇 翔太
- ・男女混合2人チーム戦 15位 宮本 健樹・田中 海斗

<ライフル射撃部>

第67回秋季全関西学生ライフル射撃選手権大会

- ・10mS60M 17位 廣橋 詩音
- ・36位 林 壱剛
- ・H-S 山崎 陸斗
- ・H-S 山崎 陸斗

<ラグビー部>

関西大学ラグビーフットボールリーグ セブンズリーグ

- ・2位 柏木 公太
- ・ペストセブン 南部 蓮

<陸上競技部>

第97回関西学生陸上競技対校選手権大会

- ・男子2部100m 予選敗退 鶯見 元輝
- ・男子2部1500m 予選敗退 米山 遼
- ・男子2部4×100mリレー 予選敗退 中村 将貴・北村 嘉洋
- ・ペスト4 平川 裕人・鶯見 元輝

令和2年度卒業生の就職状況について

令和2年度は新型コロナウイルスの感染により過去に類を見ない就職・採用状況となりました。まず、企業では採用難から一転して採用充足の割合が増加した傾向にありました。これは学生が新型コロナウイルス禍において不安を感じ、就職活動の量を例年に比べ増やした傾向もあると考えられます。そこで注目されたのがオンラインを活用した採用活動です。Web面接での選考をいち早く導入した企業に充足率が高かった傾向がみられました。一方学生からは、早期に予定されていた合同説明会が軒並み中止・延期となり、先行き不透明な就職活動を余儀なくされました。こうした中、令和2年3月までにインターンシップや学内での合同説明会に参加した学生は早期に内定を獲得していました。今後、業界によっては採用数の減少が顕著に現れ、旅行・観光・外食などでは厳しい現状が予想されます。一方、在宅勤務でのリモートワークといった働き方が取り入れられたことにより、IT関連の企業では業績が伸びています。しかし、全体では経済の冷え込みにより採用縮小の傾向が伺えます。

こうした環境の中、キャリアサポート室(以下当室)では、6月から4年生に対して、個別連絡を行い、就職活動状況の把握及び支援を行いました。また、学生が本当に自分に合った就職先に出会えるよう一人ひとりに対し、親身になって対応し、本学の特色でもある「就職に強い大学」を維持するために、より一層充実した就職支援体制の確立を目指し、「自己理解」に多くの時間をかけ、「なにがしたいのか、やれるのか」を考え、次に「業界・企業・職種の研究」に励み選

択肢の幅を広げていきました。こうして各自の強みが“実社会で活かせる場所はどこなのか”に気づかせることを重点に指導を行いました。

内定獲得に向けての施策は、オンラインを活用した合同企業セミナーを中心に企業と学生の出会いを様々なコンセプトで開催しています。また、リターン就職支援では、現在の就職支援協定県(愛媛・香川・高知・岡山・和歌山・鳥取)との連携強化を加え、在学生が多い県との新たな就職支援協定を締結すべく働きかけを行っていきます。

当室では、このような学内外での様々な就職支援事業を展開していきます。そのためには校友会との更なる連携が必要不可欠です。早期離職者を抑制し、一人ひとりの学生の「楽しい生き方」が実現するよう指導していきます。今後ともご支援賜りますよう、何卒、よろしくお願ひ申しあげます。

出身県別令和3年3月 卒業者数					
北海道	1	東京都	1	滋賀県	14
青森県	1	神奈川県	1	香川県	11
岩手県	0	新潟県	0	愛媛県	23
宮城県	0	富山県	3	大阪府	447
秋田県	0	石川県	6	高知県	11
山形県	0	福井県	8	兵庫県	76
福島県	0	山梨県	0	奈良県	67
茨城県	0	長野県	0	佐賀県	1
栃木県	0	岐阜県	4	和歌山县	63
群馬県	1	静岡県	2	長崎県	1
埼玉県	0	愛知県	1	熊本県	0
千葉県	0	三重県	10	島根県	10
				大分県	1
				宮崎県	0
				鹿児島県	3
				山口県	3
				沖縄県	4
				外国	0

卒業生数(前年)	就職決定率(前年)	進路決定率(前年)
839名(860名)	94.7%(97.3%)	94.6%(97.0%)

大学情報を日々発信しています!

広報入試課が運営する各種SNS公式アカウントでは、大学の様々な活動やイベント、学生の活躍の様子などを、動画や画像などと共に発信しています。SNSに登録していない場合でも、大学公式WEBサイトから発信内容を見ることも可能です。ぜひ一度ご覧ください。



大商大SNS公式アカウント
<http://ouc.daishodai.ac.jp/sns/>

大学コレクション

探訪

No.1

明治初期の氏子札

1.はじめに

日本資本主義の父と称される渋沢栄一の足跡を引き合いに出すまでもなく、明治維新が他に類を見ない大変革であったことは誰もが認めるところでしょう。政治的な面から見ても、廃藩置県に至る過程での、幕藩体制から天皇を中心とした中央集権体制への構造改革を筆頭にして、それに伴う地租改正や秩禄処分なども旧体制からの大きな脱皮であったといえます。

一方で、意外と知られていないもう一つの画期的な政策がありました。明治4年の戸籍法の公布です。今回はこの戸籍法にまつわる本学の資料を紹介します。

2.戸籍法の公布と氏子札

明治維新の政治的変革の中心となった廃藩置県は、それまでの府藩県の三治体制を刷新し、政府が国民を直接統治する中央集権体制を構築しました。戸籍法は、この廃藩置県が行われる3ヵ月前の明治4年4月4日に公布され、維新政府の底辺工作として、後に至るまで社会の各方面に広く影響を及ぼします。それは四民平等の原則に基づき、江戸時代には宗門人別の対象ではなかった武士も含めて一括して戸籍法のものに網羅し、一定のルールで全人民を直接掌握する政策であったからです。それ以前の幕藩体制下では戸籍だけでなく、軍制はもちろんのこと、税制や財政も各藩ごとに違いました。

この戸籍法の法体系に興味深い制度がありました。戸籍法第二十則に、6ヵ年目ごとの戸籍改正に際して、「氏神ノ守札ヲ其時検査スヘシ」と定められていたのです。この法の公布当初は氏子札の規定はありませんが、3ヵ月後の明治4年7月に大小神社氏子取調規則が出され、全国民が郷社

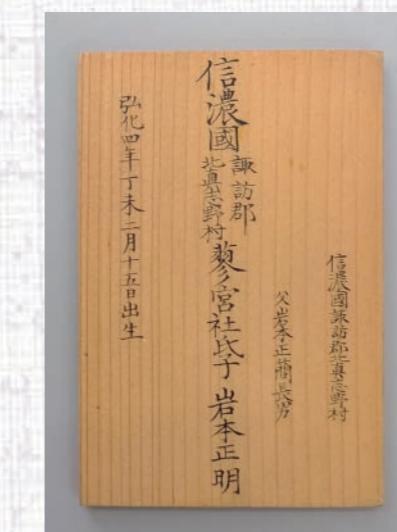
の氏子になり、その氏神の守札を所持すべきことを定めたのです。この時の氏子制度は江戸時代の檀家制度のような宗教性は少なく、より広い見地から採用された政治的なものでした。したがって、明治6年5月に東京府から「下方困却ノ事情」で永続が覚束ないため取消の願いが提出されると、すぐに政府から保留が布告され、あっさりと放棄されました。ただ、2年間の短い期間ではありましたが、当時の国家神道政策とも相俟って戸籍証明に氏子札が利用されたのは事実で、それゆえに氏子札は貴重な史料です。

3.氏子札の内容

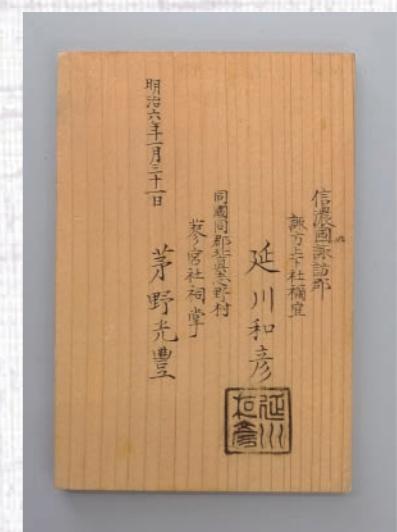
この氏子札は堅3寸(約9cm)横2寸(約6cm)の木札で、当時の雛形によると表面には某所某神社氏子、「生国及び姓名住所出生年月日ト父ノ名」を記し、裏面には神官氏名印と発行年月日を記入しています。これは地方官吏である戸長の達しによって神社が発行したもので、神職には発行の決定権はなく、この制度の政治主導の側面が見て取れます。

本学所蔵の氏子札は、信濃国諏訪郡北真志野村蓼宮社の氏子札で、裏面には信濃国諏訪郡諏訪上下社禰宜延川和彦の氏名と印、同國同郡北真志野村蓼宮社祠掌茅野光重の氏名とともに、明治6年1月31日の発行日が記されています。端正な墨書で仕上げられたこの木札は、現代のマイナンバーカードのような機能性こそありませんが、風格漂う工芸品のような一枚です。

(大阪商業大学学術研究事務室 学芸員 池田治司)
【主要参考文献】福島正夫編『戸籍制度と「家」制度』東京大学出版会、1959年



信濃国諏訪郡北真志野村蓼宮社氏子札(表)
[大阪商業大学商業史博物館所蔵]



信濃国諏訪郡北真志野村蓼宮社氏子札(裏)

中澤 勇 氏に校友顕彰

令和2年12月15日、大阪商業大学「令和2年度校友顕彰」受賞者として、株式会社 中澤ホールディングス 代表取締役社長、校友会京都府支部役員の中澤勇氏(昭和41年3月卒業)が表彰されました。

校友顕彰は、優れた社会的貢献を果たし、各界で活躍する卒業生の功績を讃える事を目的に、平成6年度から実施されているものです。

中澤氏は、本学卒業後、1970年11月京都河原町に日本で初めてファッショントピカル情報発信基地となる京都BALを開業し、デザイナーズブランドの全盛期を創設されました。

今日、京都・神戸BALにおいて、衣服にとどまることなく、家具、雑貨、食などを取り揃えて、時代の半歩先を行く、ライフスタイルを提案され、自らの永年の経験を生かし50年以上に渡り、多くの人々に豊かな暮らしと感動を与えて来られました。



歴代の校友顕彰被顕彰者

平成 6年度	齊藤 明雄 氏	平成16年度	東田 政重 氏	平成24年度	榎 信晴 氏
平成 8年度	小嶺 忠敏 氏	平成17年度	玉木 敬 氏	平成25年度	廣澤 郁夫 氏
平成 9年度	佐々木 静子 氏	平成19年度	山下 雄輔 氏	平成26年度	今西 清 氏
平成10年度	新崎 盛善 氏	平成20年度	高谷 博之 氏		小川 正夫 氏
平成11年度	伊東 忠也 氏	平成21年度	菅原 靖之 氏	平成28年度	谷口 楠佳 氏
平成12年度	湖中 齊 氏		鶴羽 樹 氏	平成29年度	高岸 曜治 氏
	雄谷 治男 氏		岡山 恭崇 氏	平成30年度	小城 利重 氏
平成13年度	富村 一郎 氏	平成22年度	杉村 寿夫 氏	令和 1年度	安田 光孝 氏
平成14年度	木ノ本 妙子 氏	平成23年度	中本 恒夫 氏		大塩 民生 氏
平成15年度	中澤 勝男 氏		中田 勝仁 氏	令和 2年度	中澤 勇 氏

新理事顔ぶれ決まる

令和2年度、新型コロナウイルス感染の影響を考慮し、書面決議となった理事会において、新しい理事を含む校友会運営に携わる校友会本部役員の顔ぶれが下表のとおり決まった。任期は令和2年7月から令和4年6月までの2年間。

役職名	氏名	卒業年	役職名	氏名	卒業年
会長	高岸 曜治	S38	理事	横田 安弘	S40
副会長	宇野 幸三	S38	理事	谷林 喜久治	S40
副会長	小城 利重	S46	理事	本城 尚武	S41
副会長	神戸 直樹	S62	理事	笠原 英二	S41
専務理事	篠山 和義	S51	理事	天野 栄	S46
常任理事	山本 一	S41	理事	工藤 憲治	S48
常任理事	青木 武則	S42	理事	福田 義道	S49
常任理事	久保 義孝	S44	理事	和村 信男	S49
常任理事	黒瀬 泰弘	S45	理事	吉岡 幸男	S52
常任理事	中川 誠一	S51	理事	西堀 秀治	S55
常任理事	吉田 泰三	S52	理事	中村 泰三	S61
常任理事	竹内 行弘	S56	理事	多田 浩之	S61
理事	廣澤 郁夫	S32	理事	銀子 勝博	S61
理事	菅原 靖之	S35	理事	浦田 章弘	H21
理事	宗平 弘行	S35	理事	新子 香織	H22
理事	中田 勝仁	S36	会計監査	松原 淳一	S37
理事	岩野 邦久	S39	会計監査	片山 雅之	S52
理事	上田 正義	S39			

* 黄色い背景のセルは新役員

訃報

令和3年5月23日に上田正義氏(現理事)が永眠されました。
ご生前のご厚情に深く感謝すると共に、ご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申しあげます。

校友会の目的

- (1)会員相互の情報交換と親睦を深める
- (2)母校との連携を図る為の活動
- (3)母校学生に対する助言と協力
- (4)支部との連携を図る
- (5)校友会館の運営に関する活動

校友会の理念

1. (社会人としての研鑽)会員は常に社会人として人間性の研鑽に励み、切磋琢磨して教養を身につける。
2. (会員相互の発展)会員は自律し、相互が一体感を持って協力すると共に、尊敬される人間として学び合い、自己の向上と会員の質的レベルをあげる為に活動し、総合教育や奉仕精神を養う。
3. (会員の責任)一人ひとりの行動が校友会の評価に繋がることを自覚し、倫理観、道徳観を尊重し、コンプライアンスを心がけ、社会の信用を得られるように責任をもった行動をする。
4. (母校への貢献)会員は卒業生として誇りを持って、母校発展の為に自己の出来る範囲で貢献する。

※これは、2007年に「校友8号」に表明したものです。

編 | 集 | 後 | 記

新型コロナウイルス感染がとどまるところを知らず、在学生は夢に描いていたキャンパスライフとは程遠い状況に追い込まれ、肉体的にも精神的にも不安を抱えた大学生活を送っていること、校友(卒業生)としても心苦しい限りです。

校友会行事も、会報誌「校友」の発刊をはじめ、書面決議での対応を含めて中止せざるを得ない状況となりました。

校友会活動の目的は、校友(卒業生)相互の親睦並びに在学生の

支援と母校・大阪商業大学の発展に寄与することです。昨年に引き続き今年も行いました学生への支援金など、今こそ校友の“つながる力”を発揮すべきでしょう。

未曾有の新型コロナウイルスの感染拡大は、まだまだ予断を許さない状況が続きますが、校友の皆様、終息後にはどうぞ校友会館へお立ち寄りください。そして元気なお顔をお見せください。お会いできることを待ちにしています。

校友

第22号 発行:令和3年8月
表紙:校友会館

大阪商業大学 校友会

ご意見などお便りは下記宛にお送り下さい
<http://www.ouc-koyu.org/> E-mail daishodai-koyu@royal.ocn.ne.jp

〒577-0036 大阪府東大阪市御厨栄町1-7-22
電話:06-6782-7243 FAX:06-6782-6411



大商大の
すべてが
わかる!



OPEN CAMPUS

事前
申込制

人数限定
(先着順)



やるかやらないか迷ったら、
やる方を選びなさい。

DAY-1

7.11 S
DAY-2

7.18 S
DAY-3

DAY-4

8.1 S
DAY-5

8.7 S
DAY-6

OPEN
CAMPUS

開催時間

① 9:00～12:00

② 13:30～16:30

※①・②ともに同じ内容です。